

I 研究開発の概要

令和3年度 研究開発実施計画書

1 事業の実施期間

令和3年4月1日（契約締結日）～ 令和4年3月31日

2 指定校名・類型

学校名 神奈川県立山北高等学校
 学校長名 岩本 明子
 類型 地域魅力化型

3 研究開発名

未病・防災～高齢者比率4割の町で高校生が挑む少子高齢化

4 研究開発概要

教育課程の中心に総合的な探究の時間を中心として据え、地域課題に係る問題解決学習に取り組む。探究の手法を学び、コンソーシアムの協力を得ながら地域課題を探究し、検討した課題解決方法を自治体に提案、実現を目指すことにより、地域人材の育成を図る。

また、学校設定教科・科目を設置し、外部機関と連携を図る教育を展開する。

5 学校設定教科・科目の開設，教育課程の特例の活用の有無

- ・学校設定教科・科目 開設している ・ 開設していない
- ・教育課程の特例の活用 活用している ・ 活用していない

6 運営指導委員会の体制

氏名	所属・職	備考
石田 浩二	山北町教育委員会 教育長	関係行政関係機関の長
羽入田 眞一	早稲田大学教育・総合科学学術院教職大学院 客員教授	学校教育に専門的知識を有する者
小村 俊平	岡山大学 学長特別補佐	学識経験者

7 高等学校と地域との協働によるコンソーシアムの体制

機関名	機関の代表者
山北町	町長 湯川 裕司
国立教育政策研究所教育政策・評価研究部	部長 渡辺 恵子
有限会社小田原ドライビングスクール	社長 秋山 実
株式会社ベネッセコーポレーション	営業本部長 吉野 隆弘
相日防災株式会社	社長 黒澤 麻志

山北町観光協会	会長 佐藤 精一郎
山北町商工会	会長 松澤 大輔
J Aかながわ西湘山北支店	支店長 佐藤 克徳
山北町都市農村交流活性化推進協議会	会長 山田 肇
総合型地域スポーツクラブ松田ゆいスポーツクラブ	理事長 松下 朗大
一般社団法人南足柄みらい創りカレッジ	代表理事 樋口 邦史

8 カリキュラム開発専門家、地域協働学習実施支援員

分類	氏名	所属・職	雇用形態
カリキュラム開発専門家	後藤 健夫	フリージャーナリスト	都度雇用
地域協働学習実施支援員	加藤 陽一郎	開成町教育委員会 教育指導専門委員	都度雇用
地域協働学習実施支援員	高杉 光男	山北町 農業委員会会長	都度雇用
地域協働学習実施支援員	藤原 浩	山北町都市農村活性化協議会 事務局長	都度雇用
地域協働学習実施支援員	堀田 往子	足柄上医師会足柄上地区在宅医療・介護連携センター 保健師・介護支援専門員	都度雇用
地域協働学習実施支援員	東海林 真純	森のおもてなしガイド副リーダー 看護師・森のセラピスト	都度雇用
地域協働学習実施支援員	草間 恵美	山北町保険健康課 管理栄養士（山北町食育推進計画担当）	都度雇用

9 課題項目別実施期間

業務項目	実施期間（ 契約日 ～令和4年3月31日）										
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
「総合的な探究の時間」の活用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コンソーシアムにおける研究開発	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
研究成果報告・事業成果の検証				○	○	○	○	○	○	○	○
「成果指標等の作成及び検証」	○	○	○						○	○	○

専門家等アドバイザーとの協働によるカリキュラム開発	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
運営指導委員会の開催による課題の整理と事業計画の作成	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		○						○			

【研究開発概念図】

未病・防災～高齢者比率4割の町で高校生が挑む少子高齢化

【研究目標】

- 高齢者とともに住民皆が健康で安全・安心な町づくり
- コンソーシアムとコミュニティ・スクールを活用した地域人材育成のための教育課程（山北スタンダード）の開発 ⇒ 地域から社会を支え、問題解決に取り組む生徒の育成



